

第4回 駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関する 障害当事者団体・鉄道事業者・国土交通省の意見交換会【議事概要】

○日時：令和3年5月14日（金）15：00～16：20

○場所：中央合同庁舎3号館 鉄道局大会議室

開会挨拶

（国交省：木村審議官）

- ・本日はご多忙のところ、第4回意見交換会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
 - ・ご案内のとおり、昨年11月に第1回を開催させていただき、これまで3回にわたって関係者の方々と意見交換をさせていただきました。これまでの意見交換会では、障害者団体の方々と鉄道事業者の方々、双方からご意見をいただいたところです。一部障害者団体の方々からいただきましたご意見の一部につきましては、各鉄道事業者で検討の上、すでに実施しているところもございます。
- 今回の意見交換会では、これまで意見交換会で出されました、障害者の方々からのご指摘、ご要望そして鉄道事業者の方々からの対応状況、ご意見を一度整理させていただいて、関係者の皆様でこれまでの議論、今後の方向性について、一度共有させていただきたいと考えております。
- ・これからガイドラインとりまとめに向けた議論をさせていただきたいと思っておりますが、本日の議論も参考にいたしまして、今後、我々の考え方を示させていただき、それについてご意見、ご議論いただければと考えております。
 - ・本日も、ぜひ前向きで闊達なご意見をいただくことができればと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

議事（1）意見交換会の現状とりまとめ（案）について

（事務局：森高鉄道サービス政策室長）

＜駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関する障害当事者団体・鉄道事業者・国土交通省の意見交換会の現状とりまとめ（案）に基づき説明＞

議事（2）意見交換等

（日本視覚障害者団体連合）

- ・時間帯無人駅（改札口）に関する記載がないので、記載していただきたい。
- ・点字ブロック、あるいは誘導ブロックの記載があり、実際敷設されているが、来る電車の状況が把握できない。例えば、地方の小さな駅に停車する電車は乗降する際、ボタンで開閉しなければならぬが、視覚障害者はボタンの位置がわからないため、音声を発生させるなど誘導ブロックと電車の連動性について書き加えていただきたい。
- ・無人駅であるからこそ、ホーム上での電車の到着等（どこの駅に行くのか、到着するか）の

情報は非常に重要であるため、明瞭にアナウンスしていただきたい。

- ・インターホンの位置が分からず、乗務員と連絡が取れないという声が寄せられているので、早急に対応していただきたい。

(日本身体障害者団体連合会)

- ・介助の申込みが事前になくとも対応している、無人駅であることのみをもって、駅の利用を断るような運用は行っていないと記載されているが、現場では実際に案内されないという問題等が起きている。本社等の考え方が、実務に携わる駅員まで伝わっていないのではないかと。職員の訓練や情報共有が必要であって、今後そういったことがないようにしていただきたい。

(事務局：森高鉄道サービス政策室長)

- ・ご指摘のとおり、現場と中央との情報の乖離について記載させていただいているところ。

(東日本旅客鉄道株式会社)

社内の駅係員に対しては、関係部署と連携して、周知をしているところ。

(事務局：森高鉄道サービス政策室長)

- ・我々としても、鉄道サービスは公共性の高い交通機関であること、障害者の方々を含む全ての駅の利用者が安全、円滑に駅を利用できるようにすることは極めて重要な課題であると認識している。

(全日本ろうあ連盟)

- ・有人駅でない障害者割引切符を購入することができないことが多い。
- ・オペレーターが対応してくれるみどりの券売機プラスがある駅が少ないので増やしていただきたいが、聴覚障害者であっても利用できるような案内表示していただきたい。また、オペレーターに聴覚に障害がある旨、伝えられる手段が欲しい。
- ・切符の購入についての説明動画があると切符が購入しやすくなるのでありがたい。
- ・電話リレーサービスがスタートし聴覚障害当事者が当該サービスを利用して鉄道事業者に連絡することがあると考えられる。鉄道事業者も適切に対応してほしい。
- ・高架工事など駅施設を改修する際は、当事者団体と意見交換をさせていただきたい。

(事務局：森高鉄道サービス政策室長)

- ・券売機で障害者割引の切符購入については、小児用切符を活用した運用をしている鉄道事業者もいると聞いている。

(全国自立生活センター協議会)

- ・今まで意見として出したものがだいたい反映されているので良いと思う。
- ・特急車両からローカル線に乗り換える際に、時間帯無人駅があり、予約をしたかったが降車

確認が取れない限り対応できないと言われ、(確定するまで1日かかった) 駅乗務員がいる時間帯に変更してくれないかと言われてしまった。そういったことがないように、必ず代替手段を示すような記載ぶりを入れていただきたい。

(DPI日本会議)

- ・これまでの方向性を盛り込んでいただいた。
- ・無人駅でもバリアフリー化に取り組んでもらうよう示していただきたい。
- ・時間帯無人駅であって、運行ダイヤが過密な駅でどのように乗降介助するかしっかり考えていただきたい。
- ・無人駅であることのみをもって駅の乗降を拒否しないという方向性を示していただいたが、全ての駅で乗車可能と理解していいのか。人的対応があっても物理的に難しい駅もあると思うので、そういった駅がどれだけあるのか、教えていただきたい。
- ・乗務員のスロープ介助はぜひ実現させてほしい。まずはできることから実施し、今後広げていくことを記載してほしい。

(東日本旅客鉄道株式会社)

- ・ガイドラインの位置づけについて教えてほしい。
- そもそも今回のとりまとめはガイドラインという表現が適切なのか、見解を示してほしい。
- ・障害者団体、国、鉄道事業者の3者の意見交換会ということなので、共生社会の実現に向けて、とりまとめの中でそれぞれの役割について触れていただきたい。

(国交省：木村審議官)

- ・ガイドラインの位置づけについては様々なかたちが考えらるが、これから作成するガイドラインは障害者団体、鉄道事業者、国の3者で集まって議論しコンセンサスを得た内容になるので、その内容に基づいて鉄道事業者は改善の努力をしていただきたいと思っている。

(日本視覚障害者団体連合)

- ・単に意見交換して終わりということではなく、これまでの意見をきちんとガイドラインに反映させてほしい。
- ・ガイドラインとすると、単なる事業者への協力依頼というものではなく事業者に対し国として望ましい姿を示すことになるので、ガイドラインという形で検討してほしい。
- ・今回議論した内容については、移動等円滑化整備ガイドラインに参考として掲載するなど移動等円滑化整備ガイドラインと連携してほしい。

(国交省：木村審議官)

- ・夏までには中間とりまとめなど何かしらの形で打ち出したいと思っているが、まだ議論がされていない論点もあるかと思うので、今後も引き続き議論させていただきたいと思っている。
- ・バリアフリー法改正時の付帯決議において、明確に「ガイドライン」と記載されているため、

今回のとりまとめは「ガイドライン」とするのが適当と考えている。

(日本身体障害者団体連合会)

- ・ 技術的・物理的に難しいことについて理解はできるが、共生社会の実現に向けて、基本的な考え方として「心のバリアフリー」についても記載してほしい。

(全日本ろうあ連盟)

- ・ ガイドラインについては内容や示し方について、事前に確認させていただきたい。
- ・ 資料の送付に余裕をもって、展開していただきたい。

以上